大阪ＩＲ建設工事について

2026年10月
大阪府・大阪市IR推進局

■ **事業者（建築主）**

ＭＧＭ大阪株式会社

■ **工事施工者**

・MGM大阪

（仮称）大阪ＩＲプロジェクト ブロックＢ本体建物工事共同企業体

※ ㈱竹中工務店、㈱竹中土木、㈱銭高組、南海辰村建設㈱、㈱淺沼組、㈱松村組、㈱森組

・MUSUBIホテル、関西ﾂｰﾘｽﾞﾑｾﾝﾀｰ、ｴﾈﾙｷﾞｰｾﾝﾀｰ、ﾌｪﾘｰﾀｰﾐﾅﾙ、結びの庭

大林組・大鉄工業・TSUCHIYA・富国建設共同企業体

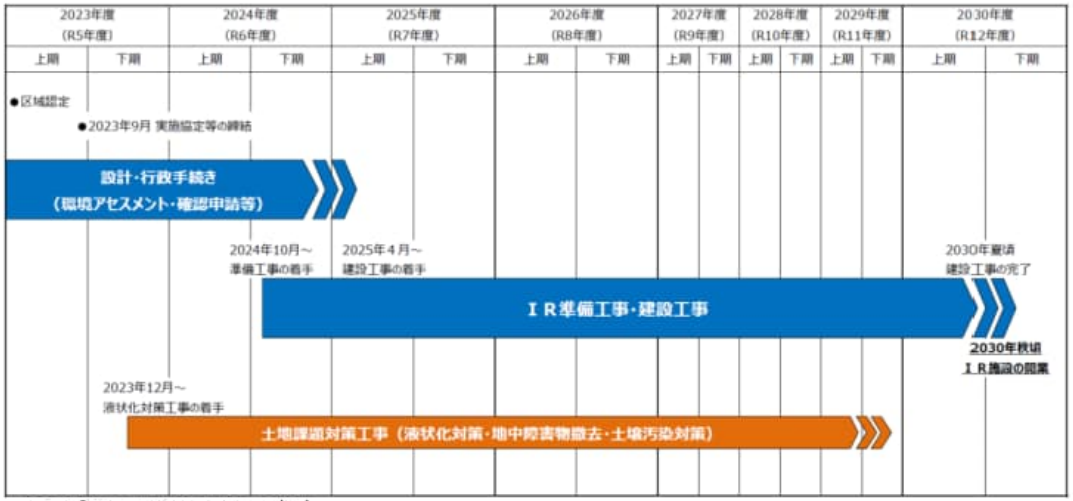
・MICE施設（国際会議場施設・展示等施設）

前田建設・奥村・アルソシア・大末・前田道路特定建設工事共同企業体

■ **工事工程**

2025年４月24日（着手）～ 2030年夏頃

■ **事業スケジュール**



※工程が最も早く進捗した場合の想定。
※ＩＲ事業の税制上の取扱い及びカジノ管理規制の整備状況、夢洲特有の地盤性状への対応状況、工事環境等によっては、ＩＲ事業の工程は１～2年程度後ろ倒しとなる可能性がある。

【ＩＲ施設配置図】

【大阪・夢洲地区】





◆**ＩＲ事業用地の土地課題対策**（液状化対策・地中障害物撤去・土壌汚染対策）

・液状化対策工事　　：2023年12月～　実施中
・地中障害物撤去工事：2025年６月完了（監督業務は2025年８月完了）
・土壌汚染対策工事　：2025年４月～　実施中

＜土地課題対策費用　概算見込額（令和８年10月末時点）＞

項　目	概算見込額	債務負担行為限度額
液状化対策費	約252億円	（410億円）
地中障害物撤去費	約10億円	（22億円）
土壌汚染対策費	約217億円	（356億円）
総額	**約479億円**	788億円

※（ ）内は債務負担行為設定時の概算見込額
※建設資材価格・労務単価の上昇に伴うインフレスライド条項の適用により、概算見込額から一定の増額が生じる見込み。